

牛久：学校周辺に見る自然

第3号 牛久自然観察の森

2014年4月14日発行

＜ 春がかけ足で ～牛久自然観察の森にも…＞

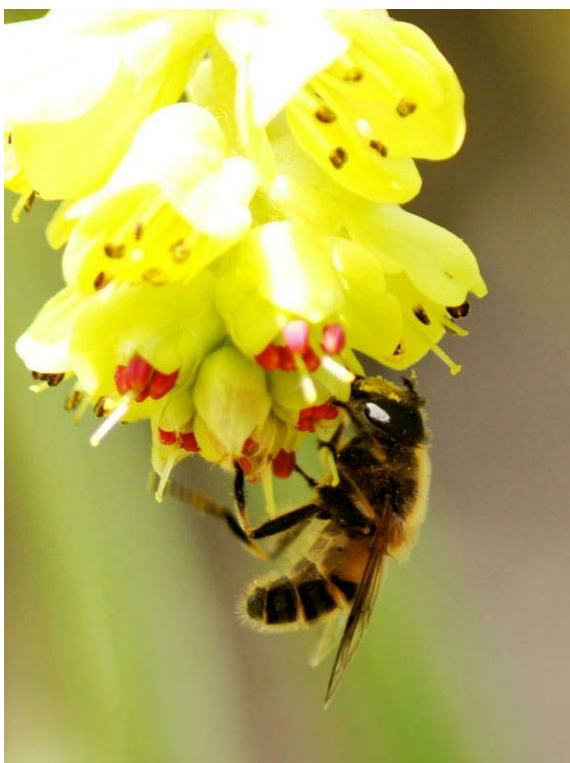
牛久自然観察の森ができてから、何年がたつでしょうか？すでに成人せいじんしている上2人の子どもたちがまだ小さいころ、日曜たびに連れて行っては遊んでいたのを思い出します。今でも時々、午後の仕事がない日や気持ちがいそいそおとずなどにこの森を訪れています。この日も、春のいろいろな花や虫たちが迎えてくれました。そのいくつかを紹介しましょう。まずは、まさしく雪のように咲いていたユキヤナギと、そのみつや花粉を食べに集まっていた、いろいろなハナアブやハエたちです。



まさに雪のような、ユキヤナギ(左上)。いろいろな種類のハナアブなどが来ていました。

写真はナミホシヒラタアブ(右上・中)、ナミハナアブ(左中)、アシフトハナアブ(左下)、ツマグロキンバエ(右下)。

次は、淡い黄色の花が房のようにぶら下がる**トサミズキ**と、そのみつや花粉^{かふん}を求めてやってきたハナアブのなかまです。トサミズキは「…ミズキ」と名がついていますが、ミズキではなくマンサクの仲間です。言い忘れましたが、前のユキヤナギも枝や葉のようすがヤナギに似ているので「…ヤナギ」と名がつきますが、ヤナギではなくバラやサクラの仲間です。トサミズキの場合、何がミズキに似ているのか？…う～ん、分かりません。名前の由来をごぞんじの方、教えて下さい。



淡い黄色の花のふさをぶら下げて目立つトサミズキ（左上）と、そのみつや花粉を食べに集まるハナアブたち。シマハナアブのオス（右上・下）、ナミホシヒラタバアブ（左中上）、クロハナアブのなかま（左中下）。それらを待ちぶせるハナグモ（左下）。

最後に、その他、咲^さいていた春の花たちと、おもしろい草や木です。



ソメイヨシノ(左上)、タチツボスミレ(右上)、カタクリ(左中上)、ウグイスカグラ(右中上)、ヤシャブシ(左中下)、ハシバミ(右中下3枚：右上は雌花, 右下は雄花)。その名の通り、ヤブレガサ(左下)、葉の上に花が咲くハナイカダ(右下)の芽ぶき。

【理科支援員：宮内】